

令和元年度 港区運営方針に関する自己評価の概要版

事前配付資料 C

自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

「港区まちづくりビジョン」に基づき、区民の意見を反映する区政運営を横糸、「地域活動協議会」を中心とした自律的な地域活動を縦糸として、横糸と縦糸が交わる強いネットワークで、区民主体のまちづくりをめざし取り組んだ。例えば防災では地域主体の防災訓練等の実施や福祉避難所の設置・運営訓練が積極的に行われるなど地域防災力の強化といった取組の成果が出ている。また、天保山まつりやシェアサイクルイベントに加え、元年度は地下鉄3駅(弁天町、朝潮橋、大阪港)を中心としたエリアにおいてにぎわいを創出する社会実験イベントを公民連携で取り組み、まちの魅力向上やにぎわいづくりをさらに進めた。これらの取組を公民連携のうえ、より発展的に実施するなど、引き続き区民主体のまちづくりを進めていく。

解決すべき課題と今後の改善方向

少子・高齢化社会の中で、子育て支援や子どもの安全対策、高齢者の見守りなど身近な生活課題の解決に取り組んでいく必要がある。例えば、児童虐待未然防止に向けてハイリスク家庭を早期に発見し支援につなげる仕組みの構築や、各種健診の受診率向上と地域コミュニティづくりの推進に向けて地域と連携して受診勧奨を行う取組などを展開していく。新型コロナウイルス感染症により社会全体の仕組みが大きく変化する中で、「With コロナ」としてコロナ禍の状況を踏まえ、災害時の避難方法の変更などこれまでの取組も適宜見直しスピード感をもって対応していく必要があると認識している。

経営課題 1 区民主体のまちづくり

戦略1-1 豊かなコミュニティの促進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 人と人とのつながりづくり	目標未達成	・個人の生活様式や価値観の多様化による人と人とのつながりの希薄化、高齢化の進行や町会加入率の減少などによる安定的な地域活動の取組への影響など、地域コミュニティを取り巻く環境が大きく変化している。 ・多様な広報媒体を活用した地域活動の情報発信や地域実情に即した地域活動の活性化支援に取り組んでいく。
(2) 第一層の活動への支援	目標未達成	
(3) 担い手不足の解消	目標達成	
(4) 負担感の解消及び活動の充実	目標未達成	
(5) 地域を限定しない活動の活性化	目標達成	
(6) コミュニティ育成支援	目標達成	
(7) ひと・まち・まなびをつなぐ生涯学習の推進	目標達成	

【目標未達成状況】

(1) 身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 〔目標〕：55% ⇒ 〔実績〕48.4% (H30:53.0%)

〈改善策〉 広報内容を工夫しながら地域コミュニティの重要性について積極的な情報発信を行う。

(2) 自治会・町内会単位(第一層)の活動に参加している区民のうち、自治会・町内会単位の活動に対する市からの支援が役に立っていると感じている区民の割合 〔目標〕：73% ⇒ 〔実績〕69.7% (H30:72.3%)

〈改善策〉 第一層の活動内容の把握に努め、市の支援内容について情報提供を行っていく。

(4) 各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合 〔目標〕：55% ⇒ 〔実績〕49.4% (H30:55.0%)

〈改善策〉 地域が自律的に取り組んでいる防災、防犯、地域福祉、地域コミュニティづくりなどの地域課題の解決に向けた取組を支援するとともに、広報内容を工夫しながらそれらの取組について積極的な情報発信を行う。

戦略1-2 自律した地域運営の支援

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域活動協議会に対する財政的支援	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> • 各地域においては、防災、防犯、地域福祉、地域コミュニティづくりなどの様々な取組が自律的に進められているが、地域実情も異なり、地域ごとで自律度の進捗に差がみられる。 • 地域実情や自律度に応じた支援手法によりきめ細やかな支援を行う。
(2) 地域活動協議会に対するきめ細かな支援	目標未達成	
(3) 地域活動協議会の認知度向上に向けた支援	目標未達成	
(4) 地域活動協議会の準行政的機能についての理解度向上	目標未達成	
(5) 地域活動協議会の総意形成機能の充実	目標未達成	

【目標未達成状況】

- (2) 地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合〔目標〕：92% ⇒〔実績〕86.9% (H30:92.4%)
 <改善策> 地域実情に即した課題解決策について検討し、支援計画を地域と共有することで、自律に必要な支援を行う。
- (3) 地域活動協議会を知っている区民の割合〔目標〕：45% ⇒〔実績〕43.0% (H30:44.4%)
 <改善策> 区内の包括連携協定企業の事業所においても紹介チラシの掲示や配布を行い、幅広く地域活動協議会の認知度向上に取り組む。
- (4) 地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に求められている準行政的機能を認識している割合〔目標〕：81% ⇒〔実績〕73.7% (H30:60.9%)
- (5) 地域活動協議会の構成団体が地域活動協議会に期待されている総意形成機能を認識している割合〔目標〕：79% ⇒〔実績〕71.7% (H30:66.9%)
 <改善策> 地域活動協議会の役員等を対象にした説明会でのアンケートにより、理解が困難な理由を把握し、資料に工夫を加え重ねて説明する機会を設けるなど、理解が深まるように努める。

戦略1-3 多様な主体の協働の推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 多様な主体のネットワーク拡充への支援	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 各地域においては地域内外の多様な活動主体と連携しながら地域活動が自律的に進められているが、連携・協働の実態について区民への周知が十分でない。 区広報紙やHP、SNSなど様々な広報媒体を活用し周知に努め、各地域における広報活動の取組についても支援を行う。

戦略1-4 多様な市民活動への支援メニューの充実

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域の実態に応じたきめ細かな支援	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> 各地域においては地域内外の多様な活動主体と連携しながら地域活動が自律的に進められているが、区民への周知が十分でない。 区広報紙やHP、SNSなど様々な広報媒体を活用し周知に努め、各地域における広報活動の取組についても支援を行う。
(2) 市民活動の持続的な実施に向けたCB/SB化の支援	目標未達成	

【目標未達成状況】

(1) まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合〔目標〕：97% ⇒ 〔実績〕90.9% (H30:96.5%)

〈改善策〉 地域実情に即した課題解決策について検討し、支援計画を地域と共有することで、自律に必要な支援を行う。

(2) 区が関与したCB/SB起業件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数〔目標〕：3件 ⇒ 〔実績〕1件 (H30:2件)

〈改善策〉 CB/SBの取組については、その内容に応じた地域の取組体制が不可欠であるため、地域実情に即してCB/SBに関する情報提供や取組へのアドバイス等を行っていく。

経営課題 2 安全・安心・快適なまちづくり

戦略2-1 防災対策の強化

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域防災の活動支援	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会が主体となった防災学習会及び避難所開設訓練が、前年度に引き続きすべての地域（ただし新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった地域を除く）でそれぞれ実施され、自助・共助の意識や地域防災力が向上している。 ・大規模災害時に自助・共助・公助の役割分担のもと、迅速かつ的確な対応が行えるよう、今後も引き続き気候変動の影響や新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえながら区の特性を踏まえた防災対策を確実に進めていく。
(2) 防災リーダーの育成	目標達成	
(3) 津波避難ビルの確保	目標未達成	
(4) 福祉避難所の設置運営支援	目標達成	
(5) 防災広報・啓発	目標未達成	
(6) 津波による浸水区域外における災害時避難所等の確保	目標達成	

【目標未達成状況】

(3) 新たに指定した津波避難ビルの数 〔目標〕：5箇所 ⇒ 〔実績〕1箇所 (H30:9箇所)

〈分析〉 津波避難ビルの指定が一定進んだことにより、高層建物の少ない一部の地域を除き、収容可能人数が避難者数を上回る結果となった。

(5) 「災害の備えとして港区の広報紙やホームページが参考になった」と答えた区民の割合 〔目標〕：60% ⇒ 〔実績〕56.4% (H30:54.5%)

〈改善策〉 今後さらに広報誌およびホームページの防災欄をみていただけるよう、テーマの選定や目をひく紙面づくりを行い、より魅力的な紙面を作成する。また地域防災学習会などで防災に関心をもっていただくよう啓発を行う。なお、広報誌を毎月見ていると回答した区民の場合、「災害時の備えとして役に立った」と回答した区民の割合は73.8%である。

戦略2-2 防犯対策の強化

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域防犯啓発	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> 区役所が実施している取組が、地域の自律・自主的な防犯の取組に効果的に繋がっていないと考えられる。 警察との連携を引き続き強化しながら、各地域の防犯活動の拠点となる地域安全センター（12箇所）との連携強化を図る。

【目標未達成状況】

(1) 防犯意識が向上した区民の割合〔目標〕：52.1% ⇒ 〔実績〕50.3% (H30:52.1%)

〈改善策〉 上記のとおり

戦略2-3 歩行や移動の安全性の確保

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 弁天町駅周辺のバリアフリーに向けた取組	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 大阪国道事務所と密に協議を行い、地元要望を踏まえた弁天町駅前地下道のエレベーター設置の方向性が固まった

戦略2-4 生活環境の向上と改善

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 特定空家対策	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> 特定空家への適切な指導を引き続き行うとともに、空家利活用を促進し、特定空家に対する啓発や特定空家に陥らないための啓発を広報紙等により行う。

【目標未達成状況】

(1) 周辺の特定空家等に不安などを感じてる区民の割合〔目標〕：7.1%以下 ⇒ 〔実績〕12.9% (H30:14.0%)

〈改善策〉 上記のとおり

経営課題 3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

戦略3-1 地域福祉の推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域福祉活動計画の推進支援	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度に全地域で策定された新たな「地域福祉活動計画」を、元年7月に広報紙により全戸配布するほかHPやSNSも活用し周知に努めた。 ・しかしながら、各地域で行われている「地域福祉活動」についての区民への周知と区民の理解が進んでいない。
(2) 高齢者等要支援者の見守り支援	目標未達成	
(3) 認知症支援ネットワークの充実	目標達成	

【目標未達成状況】

(1) 身近な地域福祉活動について「知っている」と答えた区民の割合 〔目標〕：70% ⇒ 〔実績〕61.1% (新規)

〈改善策〉 広報紙やHP、SNSなどの多様な媒体活用や各種機会をとらまえ、地域福祉活動への区民の理解が進むよう、周知に努める。

(2) 要介護者からの相談延べ件数 〔目標〕：4,400件 ⇒ 〔実績〕3,604件 (H30:4,771件)

〈改善策〉 新型コロナウイルス感染症の状況に応じながら、電話での見守りなど取組を進めている。事態収束までは感染拡大防止対策を講じながら、引き続き見守り活動を推進する。

戦略3-2 地域包括ケアシステムの構築

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 在宅医療・介護連携の推進	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携に関して一般向け講演会の開催や、専門職向けの研修会や自主勉強会などを開催した。 ・「在宅での緩和ケアや看取りについても考えていきたいと思う」と答えた区民の割合は前年度より増加している。

戦略3-3 セーフティネットの充実

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 高齢者等要支援者の見守り支援【再掲】	目標未達成	<p>・障がい者等やその家族への相談支援、児童虐待の防止、こどもの貧困対策などで様々なアプローチから取組を進めることで、一定の成果は出てきている。</p> <p>・令和2年度は、継続的な取組に加え、児童虐待未然防止に向けてハイリスク家庭を早期に発見し支援につなげる仕組みの構築などの取組も行っていく。</p>
(2) 乳幼児発達相談事業の強化	目標達成	
(3) 発達障がい児の養育者支援	目標達成	
(4) 児童虐待の防止・DV被害者の支援	目標達成	
(5) 障がい者・高齢者虐待の防止の取組み	目標達成	
(6) 生活困窮者対応の充実	目標達成	
(7) こどもの貧困対策の推進	目標達成	

【目標未達成状況】

(1) 要援護者からの相談延べ件数 〔目標〕：4,400件 ⇒ 〔実績〕3,604件 (H30:4,771件)

〈改善策〉 新型コロナウイルス感染症の状況に応じながら、電話での見守りなど取組を進めている。事態収束までは感染拡大防止対策を講じながら、引き続き見守り活動を推進する。

戦略3-4 健康寿命の延伸

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区民の健康増進	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・運動への取組については目標値を下回っているものの、前年度と比較すると数値が上がってきている。引き続き、健康づくりに取り組みやすい環境づくりなど、区民の健康寿命の延伸に向けた取組を進める。 ・がん検診の受診率についても計画時に設定した数値を下回っているものの、前年度と比較すると全検診で数値があがってきている。引き続き、積極的な広報など受診率の向上に向けて取組を進める。
(2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上	目標未達成	

【目標未達成状況】

(2) 保健福祉センターで実施する肺がん・乳がん検診を併せた充足率 〔目標〕：80% ⇒ 〔実績〕65.3% (H30:68.3%)

特定健康診査の受診率 〔目標〕：17.8% ⇒ 〔実績〕17.6% (H30:17.5%)

〈改善策〉 新型コロナウイルスの収束までは感染拡大防止策を講じながら、引き続き、受診率向上に向け、区広報紙やホームページによる周知や各種機会をとらえ周知に努める。

戦略3-5 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区における人権啓発推進・人権相談	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・「発達に課題を抱える児童生徒の基礎理解と具体的な関わり方」などのセミナーの開催、「ダイバーシティ～社会で子どもを守りはぐくむ～」をテーマとしたにし人権展の共催、レインボーカフェ3710の定例開催等の取組を行った。 ・これら取組により区民の人権への意識も高まっている。

経営課題 4 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり

戦略4-1 「子どもの学び」の応援

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 分権型教育行政の効果的な推進	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 各取組は目標を達成しているが、全国学力・学習状況調査の「授業時間以外の1日あたりの勉強時間」が「30分より少ない」、「全くしない」と答えた児童・生徒の割合の改善は目標に達していない。 家庭学習の習慣化には、保護者への周知・啓発が必要である。指標については「学習習慣がない、または非常に少ない」児童・生徒の習慣化を目指していることから、こうした層の保護者への啓発が必要である。 同調査において「全くしない」と答えた者の割合の改善状況では9校であり、より学習習慣のない層の改善にはつながっていることから、引き続き、取組を継続し、周知・啓発に努める。
(2) 子どもの学力・体力の向上	目標達成	
(3) 子どもの教育環境の向上	目標達成	
(4) 青少年の健全育成の推進	目標達成	

戦略4-2 「子育て世代」の応援

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 保育所待機児童への対応	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援機関や地域の子育て支援団体・グループとの連携を強化し、子育て支援情報の発信や地域の身近なところで気軽に相談できる機会の提供等、安心して子育てできる環境づくりを進めてきた。引き続き多様なツールで積極的・一体的に子育て情報をわかりやすく発信する必要がある。 ・待機児童の解消に至っていないため、市全体の待機児童解消に向けた取組と区における取組とで連携を図りながら、共働き世帯のニーズに応える多様な保育サービスの充実をめざす必要がある。 ・港区の今後数年間の6歳未満人口推計を踏まえて、企業主導型保育施設等の多様な保育サービスの充実をめざす。
(2) 子育て支援情報の提供	目標達成	
(3) 子育て相談機関による支援の充実	目標達成	

【目標未達成状況】

(1) 開設された保育施設等 〔目標〕：1か所以上 ⇒ 〔実績〕 0か所 (H30:0か所)

〈改善策〉 法人等における施設整備の実現のための課題について、意見交換を行い、課題を把握し解決策を検討する。

経営課題 5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

戦略5-1 地域資源を活かしたまちの活性化

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 商工業者のビジネス操業環境の整備	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 区内の商店街等では、地域と連携したにぎわいイベントや港区の魅力ある資源を活かした商品等を創出するみなトクモンプロジェクトと連携するなどの特色ある取組が行われているが、そういった活動によってまちが活性化していると感じている区民が少ないため、取組の周知や取組自体に関してもより工夫が必要である。
(2) 港区の魅力発掘・創出	目標未達成	

【目標未達成状況】

(2) 「みなトクモン」の区民モニターアンケートによる認知度〔目標〕：50% ⇒ 〔実績〕49.9% (H30:51.2%)

〈改善策〉 元年度末に製作した広報用手提げ紙袋を各事業者等に配付したり、ホームページやSNSの活用の仕方に工夫することで、区民への認知度向上を図っていく。

戦略5-2 築港地区のにぎわいづくり

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 「築港・天保山地区まちづくり計画」の推進	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度末に策定した「築港・天保山まちづくり計画」に基づき、公民連携による天保山まつりやシェアサイクルイベント、さらに、港区の地下鉄3駅を中心とした3つのエリアにおいてにぎわいを創出する社会実験イベントを実施したことにより、公民連携による公共空間の活用が進んでいる。

戦略5-3 まちづくりに向けた行政資産等の活用

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 弁天町駅前土地区画整理記念事業に係る検討	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> 市岡商業高校跡地では、区民等との意見交換会の開催及び区内部の検討や関係局との協議などを行ってきたが、最終的な活用の方向性が固まっていない。 地域の声なども踏まえながら、マーケット・サウンディング等を実施して事業者ニーズを把握し、有効な活用方策を見出していく。

【目標未達成状況】

(1) 「(仮称)区画整理記念・交流会館」の区民の認知度 〔目標〕：50%以下 ⇒ 〔実績〕44.4% (新規)

〈改善策〉 (仮称)区画整理記念・交流会館の建設工事の実施にあたり、区民への周知や運営方法について区政会議等において意見を聴取するなど、認知度を高める取り組みを行う。

経営課題 6 区民意見を反映した区政運営

戦略6-1 多様な区民の意見・ニーズの的確な把握

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区の広聴関係事業	目標未達成	・「区民モニターアンケート」「市民の声」「み・な・と改善箱」「ツイッター」「フェイスブック」を通年実施し、特に「ツイッター」については積極的に発信するよう努めたが、目標達成には至らなかった。区役所が行っている区民の意見やニーズを把握するツール等についても積極的に発信する必要がある。
(2) 区役所の相談機能の強化	目標未達成	

【目標未達成状況】

- (1) 区役所がさまざまな機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合 〔目標〕：60% ⇒ 〔実績〕43.3% (H30:47.1%)
 <改善策> 現在の取組を継続して行うとともに、広報紙・広報板の他、SNSを今まで以上に積極的に活用し、区役所が区民の意見やニーズを把握するツール等の周知を行う。
- (2) 日常生活に関する様々な相談や要望について、区役所が適切に対応していると感じる区民の割合 〔目標〕：80% ⇒ 〔実績〕78.0% (H30:77.0%)
 <改善策> サービスの受け手である相談者等の視点に立ち、窓口サービスの改善に向けた取組を進めるとともに、相談窓口や相談方法のさらなる周知を行う。

戦略6-2 区民の参画と協働による区政運営

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区における住民主体の自治の実現	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・会議運営上の課題把握のためのアンケートにおいて、「事前配付資料や当日配付資料が多い」、「議題が多く説明が長い」、「委員が多くて活発な意見がしづらい」などの意見が多かった。 ・上記アンケートの結果などを受け、元年10月の委員の改選において、委員数を縮小することなどで、より活発な意見交換ができる構成に変え、第2回区政会議より、事前配付資料の削減などの改善に努めたが、まだ議題が多くて説明が長いなどの課題があるため、2年度の区政会議において改善を図っていく。

【目標未達成状況】

- (1) 区民の意見や要望を聞き、区政の運営に反映するよう努めていると感じている区民の割合 〔目標〕：60%以下 ⇒ 〔実績〕50.7% (H30:41.8%)
 <改善策> 上記のとおり

戦略6-3 区政情報の積極的な発信

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区政情報の積極的な発信	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙をはじめ、広報板やHP・SNSにて区政情報を積極的に発信するよう努めたが、目標達成にわずかに至らなかった。 ・今まで以上に魅力ある広報紙を作成し、SNSでは情報発信頻度を今まで以上に増やすように努める。

【目標未達成状況】

- (1) 区のさまざまな取組(施策、事業、イベントなど)について行っている情報発信の内容は十分と感じている区民の割合
 〔目標〕：50%以下 ⇒ 〔実績〕49.7% (H30:54.0%)
 <改善策> 上記のとおり

戦略6-4 区民が利用しやすく、信頼される区役所づくり

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 窓口業務におけるサービスの向上	目標未達成	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度窓口サービスの格付けの結果は、4年連続で星2つ(3.5点以上)を獲得することができ、目標を達成することができたが、区役所の案内サービスや窓口対応についての肯定的意見の割合は目標を達成することができなかった。 令和元年度の不適切な事務処理事案の件数は、3件であり目標を達成することができたが、日頃からPDCAサイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合は目標を達成することができなかった。
(2) 区民が納得できる効果的・効率的な業務運営	目標未達成	
(3) 効率的な区行政の運営の推進	目標未達成	

【目標未達成状況】

(1) 区役所へ過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合

〔目標〕：86% ⇒ 〔実績〕83.5% (H30:81.7%)

〈改善策〉 接遇研修を実施し、全職員の接遇能力を向上させるとともに、区民が快適で利用しやすい区役所となるよう区役所庁舎内すべての案内表示等の点検を行う。

(2) 効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に即して区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合

〔目標〕：60% ⇒ 〔実績〕47.3% (H30:41.0%)

〈改善策〉 区民にわかりやすく内容を工夫しながら、様々な機会を通じて区役所の効果的・効率的な業務運営に関する情報発信を行っていく。

(3) 日頃からPDCAサイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合 〔目標〕：90.3% ⇒ 〔実績〕89.8% (H30:90.2%)

〈改善策〉 ・職員研修を実施するとともに、庁内情報誌「みなとーく」等を活用し、全職員あてPDCAサイクルの徹底を周知するなど、職員の意識向上を目指す。

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 歳入の確保（独自財源の確保）	目標未達成	・庁舎敷地等を活用した広告は想定を上回る実績となったが、公募による区広報紙やホームページバナーへの広告主の確保が低調であった。
(2) 歳出等の削減	目標未達成	・消耗品等の一括購入や光熱水費の抑制により経費の節減に努めたものの、庁舎の老朽化による修繕等が想定を上回る結果となった。
(3) 市民利用施設の見直し	目標達成	・（仮称）区画整理記念・交流会館の効率的な運営にむけた取組に向けた庁内検討体制を構築し、根拠条例及び運営方法の枠組みの整理に着手した。

【目標未達成状況】

(1) 広告料収入や目的外使用料収入など区独自財源の確保

- ・ 広報紙、ホームページバナー等 〔目標〕：5,338 千円 ⇒ 〔実績〕 1,976 千円 (H30:3,380 千円)
- ・ 庁舎壁面、モニター広告等 〔目標〕：2,913 千円 ⇒ 〔実績〕 3,561 千円 (H30:1,960 千円)
- ・ 自動販売機の設置使用料 〔目標〕：2,665 千円 ⇒ 〔実績〕 3,100 千円 (H30:2,176 千円)
- ・ 駐車場収入 〔目標〕：3,937 千円 ⇒ 〔実績〕 3,937 千円 (H30:3,901 千円)
- ・ 古紙売却代 〔目標〕： 150 千円 ⇒ 〔実績〕 116 千円 (H30: 290 千円)

〈改善策〉 広告主を確保するための手法を検討するとともに、庁舎敷地等を活用した新たな収入の確保に努める。

(2) 庁舎維持管理運営経費・一般管理費

〔目標〕：H29 決算額 76,302 千円以下 ⇒ 〔実績〕 77,603 千円 (H30:80,008 千円)

〈改善策〉 一括購入による単価の抑制や計画的な庁舎の修繕等により、経費の節減に努める。